

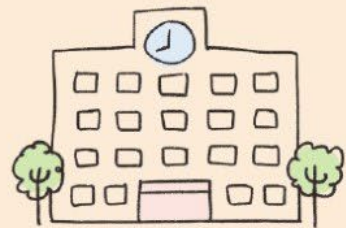
自殺対策関連研修のご案内

中高教職員のための ゲートキーパー研修

令和4年の小中高生の自殺者数は514人で過去最多となるなど、児童生徒の自殺は深刻です。これを受け、こども家庭庁が令和5年6月に発表した「こどもの自殺対策緊急強化プラン」では、こどものSOSをどのように受けとめるかについて教員が学ぶ機会の設定が掲げられています。本研修では、こどものSOSのサインに気づき、寄りそい、適切に支援につなぐ(=こどもたちの「ゲートキーパー」になる)ためのコツを、ケース・スタディを通して分かりやすくお伝えします。

研修プログラム(約90分)

- ① 児童生徒の自殺の概要
- ② 4つのケース・スタディ
 1. 自殺のほのめかし
 2. 友人からの相談
 3. 自傷行為
 4. アンケートの罠
- ③ まとめ



本研修プログラムは、自殺対策の専門家、小児科専門医、教育の専門家等の知識や経験をもとに、いのち支える自殺対策推進センター子ども・若者自殺対策室が開発しました。

日時 応相談 (原則としてお申し込み先着順で相談に応じます)

※ 第1期:2024年1月~3月 第2期:2024年4月~6月 ほか

※ 研修効果を測定するため、研修の前後で参加者に簡単なアンケートへの回答をお願いする場合があります。詳細はお申し込み時にお知らせします。

会場 オンライン形式 (Zoomなど) または 対面形式 (講師派遣)

参加費 無料 ※ 機器・通信費、会場費、交通費等をご負担いただきます。

お申し込み・お問い合わせ



厚生労働大臣指定法人・一般社団法人
いのち支える自殺対策推進センター



子ども・若者自殺対策室
youth@jscp.or.jp